

さかわようちえんだより ~7月号~

令和4年6月29日
小田原市立酒匂幼稚園
園長 越川 知香子

今年も幼稚園のピロティにツバメがやって来ました。巣作りを始めたかと思っていると、「ピヨピヨ」と可愛い鳴き声してきました。雛が3羽孵っていました。親ツバメは雛鳥に食べさせるエサを取って来ては口の中に運んであげています。親ツバメが近づくと小さな可愛らしい口ばしをパクパクとさせ「早く食べたいよう！」と言っているかのように見え、何とも愛くるしい姿を見せて、私たちの心を癒してくれています。先日、巣の上部が崩れ1羽の雛鳥が地面に落ちてしまいました。慌てて巣に戻してあげましたが、その後も巣から落ちてしまうことが予想されたので、地面に落下せず地上でキャッチしてあげられるハンモックを設置してみると、予想通り巣から落ちてしまいましたが、ハンモックの上で元気に鳴いていました。しかし、親ツバメは巣から落ちた雛鳥にはエサを運んでくる様子が見られませんでした。そこで、保護者からアドバイスをいただき、空き容器で巣を補強してみようと脚立の一番上に乗って作業していると「園長先生！ツバメさんが落ちないようにしてくれてありがとう！」「ツバメの赤ちゃん大きくなるといいね！」など子どもたちから、とても嬉しい心が温まる言葉が聞かれました。子どもたちに生き物を大切に思う心が育まれていることにとっても嬉しく思いました。数日後、雛鳥の姿が見えなくなっていました。元気に巣立っていったようです。



【豆知識】 ツバメが巣を作る＝幸運の象徴といわれる理由とは？（諸説あります）

- ◎巣を作る場所は風水でいわれる鬼門ではないところ＝幸運がたくさん舞い込んでくる場所
- ◎巣を作ることで、家主が常に玄関付近を清潔に保つ＝清潔に保つことで幸運が舞い込んでくる
- ◎安全に子育てがしやすい（子孫繁栄）場所＝自然災害の心配がない場所
＝穏やかな人が集まる安心できる場所

♡酒匂幼稚園が70年近く、愛され存続してこられた要因の一つはツバメの訪問かもしれないですね！



令和4年度 酒匂幼稚園のサポーターの皆様を紹介します！（PART 2）

【幼稚園関係者委員会とは】

幼稚園をよりよくしていくために、園の教育や運営状況についてご意見をいただいています。今年度は5月30日に第1回関係者委員会を開催しました。コロナ禍で2年間書面開催となっていたため、今年度は実際に足を運んでいただき、子どもたちの遊びや生活の姿を参観していただきました。



「落ち着いて好きな遊びに取り組んでいますね。」「酒匂幼稚園はやっぱりいいですね！」など嬉しい言葉やご意見をいただきました。

【関係者委員会の皆様】

酒匂・小八幡地区自治会連合会長 譲原 春夫 様	
主任児童委員 高橋 美智子 様	主任児童委員 鈴木 かおり 様
小田原市立酒匂小学校長 高田 秀樹 様	小田原市立富士見小学校長 安多 寿子 様
保護者と教師の会会長 松本 祥子 様	一年間よろしく願いいたします。

みんなで守りたい『おだわらっ子の約束』について



6月のおだわらっ子の約束は、さくら組は『明るく笑顔であいさつします』ほし組は『「ありがとう」「ごめんなさい」を言います』でした。さくら組は「あいさつされるとどんな気持ち？」「嬉しい気持ち！」と感じる気持ちを大切にしてきました。ほし組は場面を捉えて伝えたり、帰りの集まりで振り返りをしたりして取り組みました。

7月の約束は以下に決まりました。今月も意識して守っていきたいですね。

さくら組 7月の約束
どんな命でも大切にします

ほし組 7月の約束
優しい心で みんなと仲良くします